



アンケートありがとうございました

桃の節句も過ぎ、すっかり春めいてまいりました。子どもたちの学校生活を生き生きと楽しいものにするため、また今後の学校改善に役立てるために、2月にアンケートを実施し、保護者の皆様からご意見をたくさんいただきました。(回収率 69.6%) いただいたご意見を謙虚に受け止め、学校運営に生かしてまいります。

今回のアンケート結果につきましても前期と同様、内容の似た項目について保護者・子ども・教職員三者がどのように違うのか、あるいは似かよっているのかを紹介させていただきます。

A=できている

B=どちらかといえばできている

C=どちらかといえばできていない

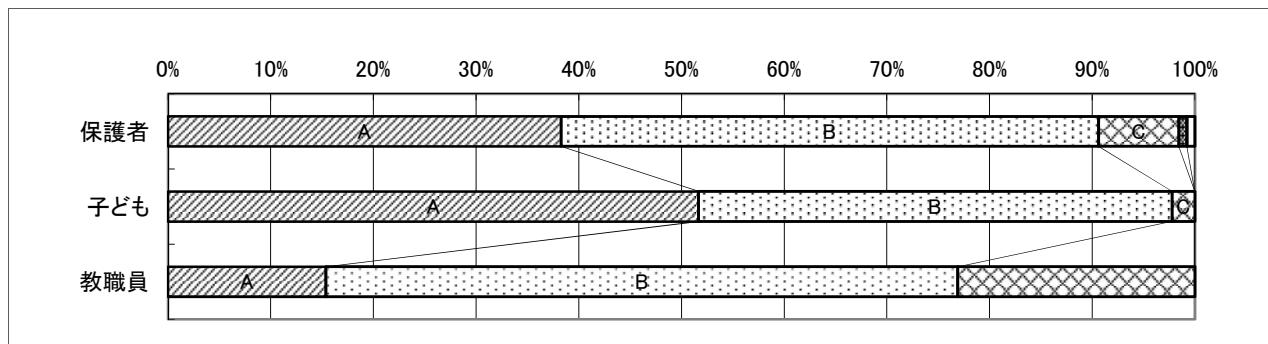
D=できていない

(無=無答)

- ① 子どもは学習内容がわかり力をつけている。 (保護者)

毎日の授業はよくわかる。(児童)

教材研究・教材作成に努め、一人一人に分かる授業を工夫している。(教職員)

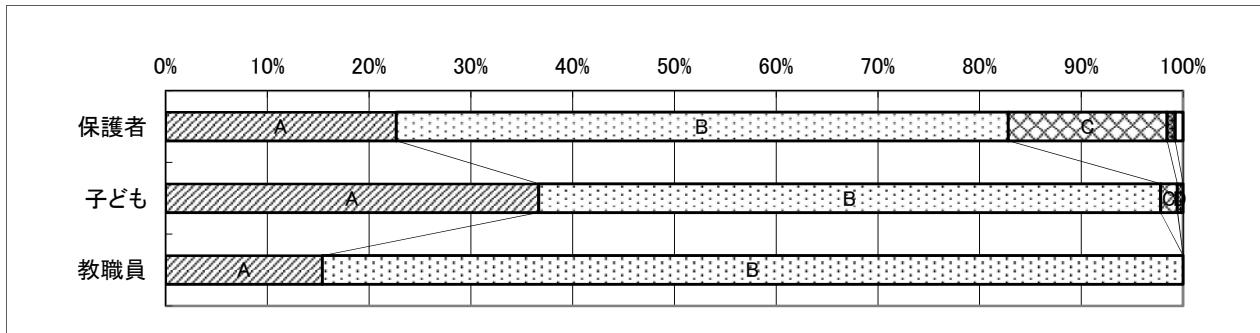


30年度前期と比べても、ほぼ変わらない数値となっています。子どもが「わかった」「できた」と思う授業を実践するため、今後も授業改善に努めます。教職員の「A」の評価が低いのは、教職員自身が納得できる教材研究・準備をする時間が少ないと感じていると思われます。学校全体の時間のマネジメントの必要性を感じています。学習内容を定着させるために家庭学習の充実を図れるよう、保護者の方のご協力も合わせてお願いします。

- ② 子どもは人の話をしっかり聞いている。(保護者)

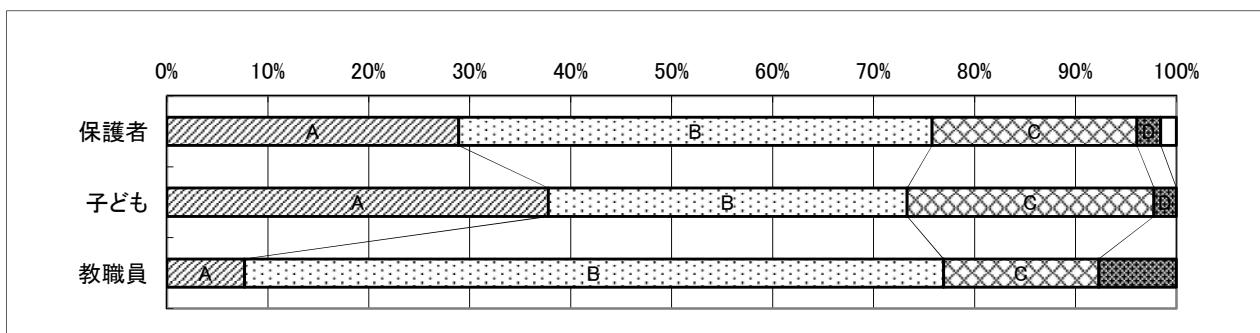
授業中人の話をしっかり聞いている。(児童)

子どもたちはしっかり話を聞き、意欲的に学習に取り組んでいる。(教職員)



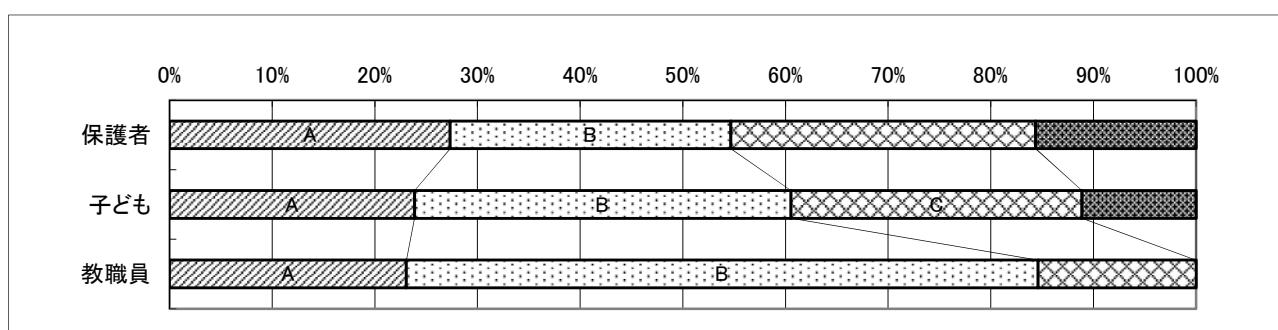
30年度前期と比較すると、教職員の評価が上がっています。学習の基礎である「聴く力」を育てる取り組みに、教職員は一定の成果を感じています。これからも、より一層努力していきたいと思います。

- ③ 子どもは思ったことや考えたことを発表している。人に話している（保護者）
 自分の思ったことや考えたことを発表している。（児童）
 子どもたちは相手に伝わるように自分の考えや思いを発表できている。（教職員）



30年度前期と比較すると、子どもの評価だけが上がっています。教職員の評価は下がりました。教職員は「相手に伝わるように発表できている」という所に、満足していないように思えます。自分の意見や思いをみんなに話すためには、安心して話せる学級の雰囲気と、自分に自信がもてることが必要です。引き続き、安定した学級経営と子ども自身が自信をもてるような取組を進めていきます。

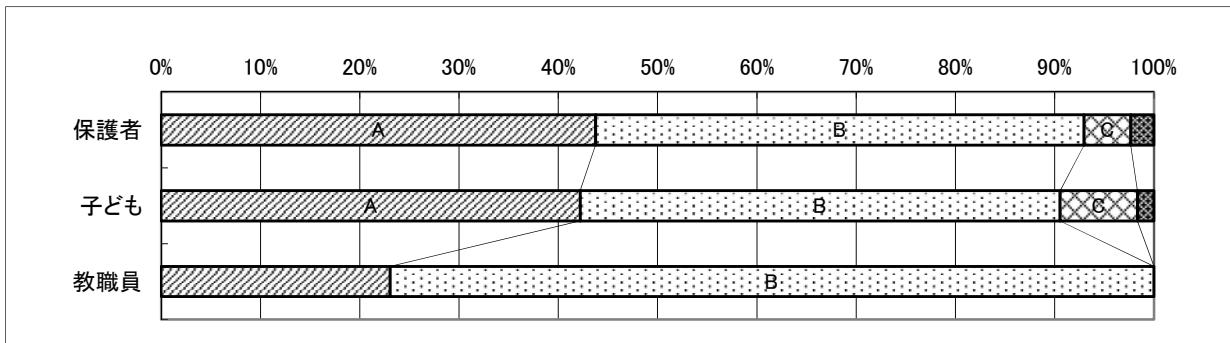
- ④ 子どもは家で本を読む習慣がある。（保護者）
 家でも読書している。（児童）
 おはよう読書や本かばんの活用、毎月のノーテレビ・ノーゲーム・読書デーの取組で、子どもたちは進んで本を読むようになっている。（教職員）



学校では少しの空き時間に本を読む姿やお話玉手箱の時間を楽しみにしている姿が見受けられます。しかし、家庭で読書の時間をとることが難しいのか、子どもが進んで読書をしていないのか、なかなか保護者・子どもの評価が上がりません。教職員の評価は少し上がっ

ています。本をよく読む子どもは語彙が増えたり、考える力がついたりすると言われています。また、想像力や発想力が身につくとも言われています。ご家庭でも、子どもたちと一緒に読書の時間を楽しんで下さい。

- ⑤ 子どもは宿題や復習など家庭学習をしている。(保護者)
家で宿題やおうちで決めた学習をしっかりとしている。(児童)
家で宿題や復習などができる。(教職員)

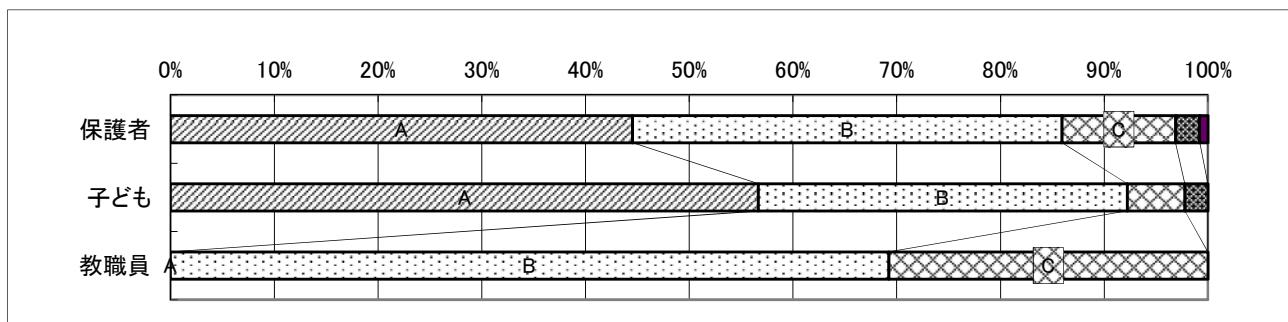


昨年度と同様に、教職員の評価が、子ども・保護者より下回っています。教職員と保護者・子どもの間に「きちんと」という姿にズレが続いているようです。

6年生が4月に行う「全国学力学習状況調査」では、家庭学習が充実している子どもは学習状況でも高い得点をとれているという相関関係が認められています。学校でも自学自習の姿を求めて指導していきますが、引き続きご家庭での協力をお願ひいたします。

年度当初に家庭学習についてのお知らせも出してあります。ホームページ配布文書のところにもアップしていますので、再度ご確認いただきますようお願ひいたします。

- ⑥ 子どもは次の日の学習の準備ができている。(保護者)
次の日の準備をきちんとできている。(児童)
子どもたちは忘れ物をせず、学習の用意ができる。(教職員)

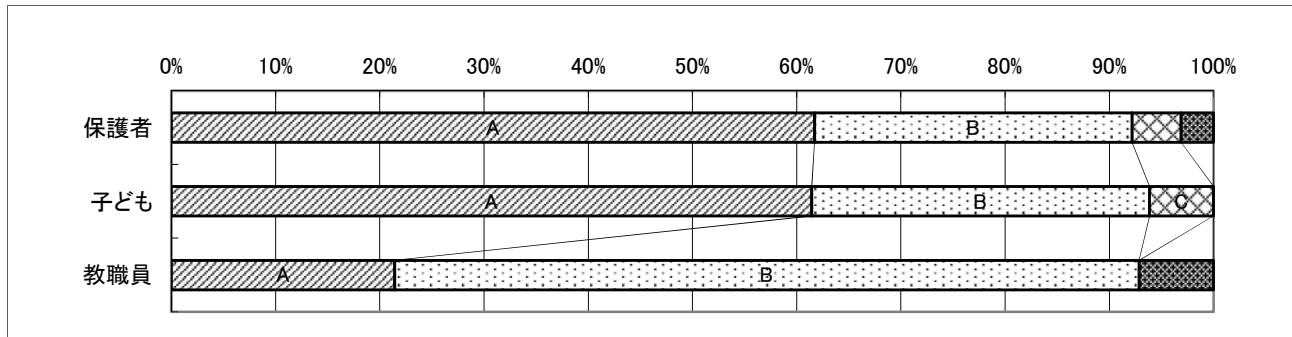


教職員の評価が、子ども・保護者より下回っています。多くのご家庭で、学習の準備をしていただいているご家庭の努力をありがたく思っております。しかし、忘れ物があると、学習に支障をきたすのは事実です。自分で予定表を見て、学習の準備ができるように、引き続き声かけをお願いします。

⑦ 子どもは毎日楽しく登校している。(保護者)

毎日の学校生活が楽しい(児童)

子どもたちは、学校や学級を楽しいと思っている。(教職員)

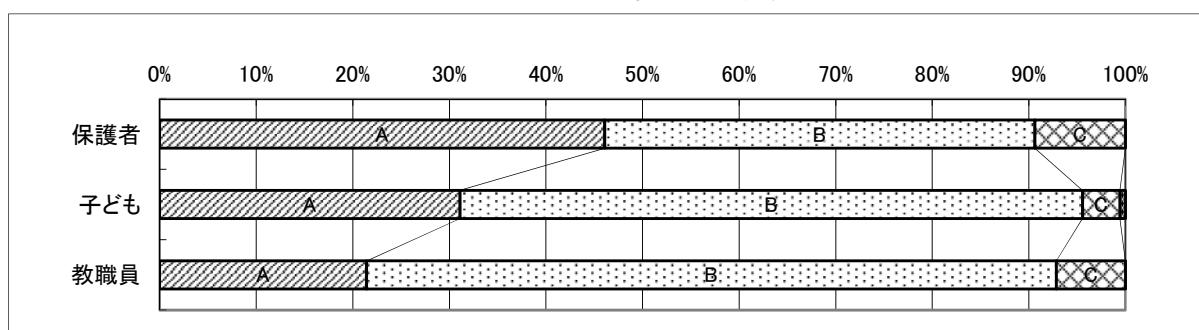


教職員の評価が少し下がりました。教職員にとっては、週明けなどに、学校に登校しにくい子どもがいることが気になっているのだと思います。少数ではありますが、楽しくないと感じている子どもの気持ちを受け止めていきたいと思います。「楽しい」と感じて登校している子どもの様子や頑張りも、しっかりと見て評価していきたいと思います。

⑧ 子どもは約束や決まり事を守っている。(保護者)

学校や学級のきまりや約束を守っている。(児童)

子どもたちは約束や決まり事を守っている。(教職員)



30年度前期と比較して、保護者・子ども・教職員ともに、ほとんど変化がありません。評価が上がりにくい項目の一つです。きまりや約束を守ることは授業中の集中力につながったり、お互いを大切にすることにつながったりします。ご家庭ではきめ細やかに見ていただき、約束事などを守らせきっていただき、ありがとうございます。個々によって守れていない項目が違うかと思いますが、その場に応じて声をかけ、自分を振り返り、自分の行動をコントロールできる子どもを育てていきたいと思います。



洛中小学校だより

令和元年度



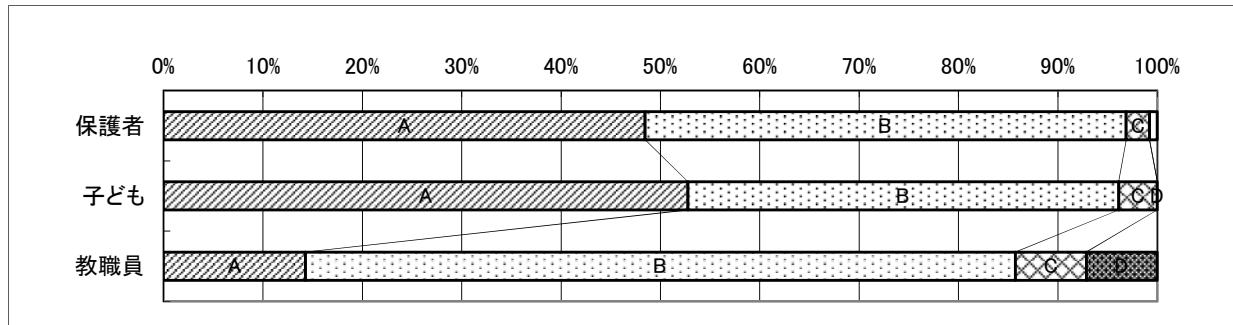
臨時号

令和2年3月 No. 2

- ⑨ 子どもは友達に優しくできている。(保護者)

優しい気持ちをもって友達を大切にしている。(児童)

いじめや仲間外れのない学級作りを重点にした取組ができている。(教職員)

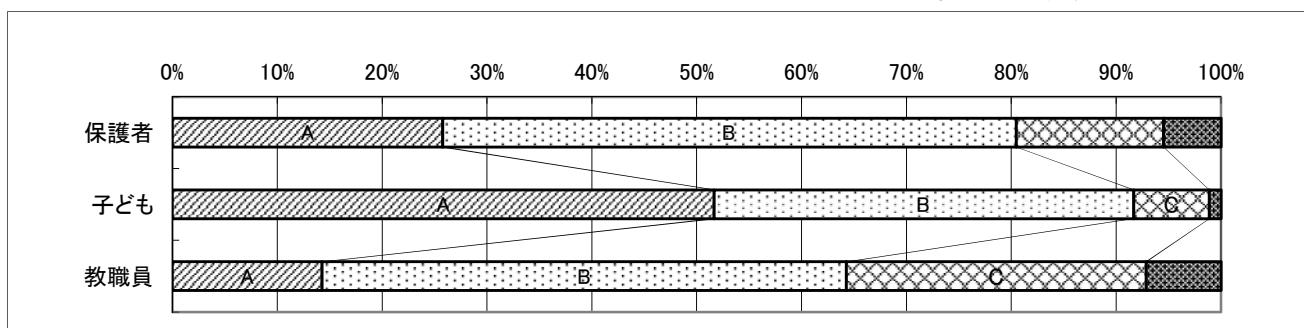


30年度前期と比較して、ほとんど変化がありません。少数ですが、「C」評価をつけている保護者・子どもがいるのが気になります。友達の良いところを見つけていけるよう援助とともに、いじめや仲間外れのないクラスづくりをこれからも大切にしていきたいと思います。

- ⑩ 子どもは自分からあいさつができる。(保護者)

友だち、先生、地域の方に自分からあいさつしている。(児童)

子どもたちは元気にあいさつができるようになってきている。(教職員)



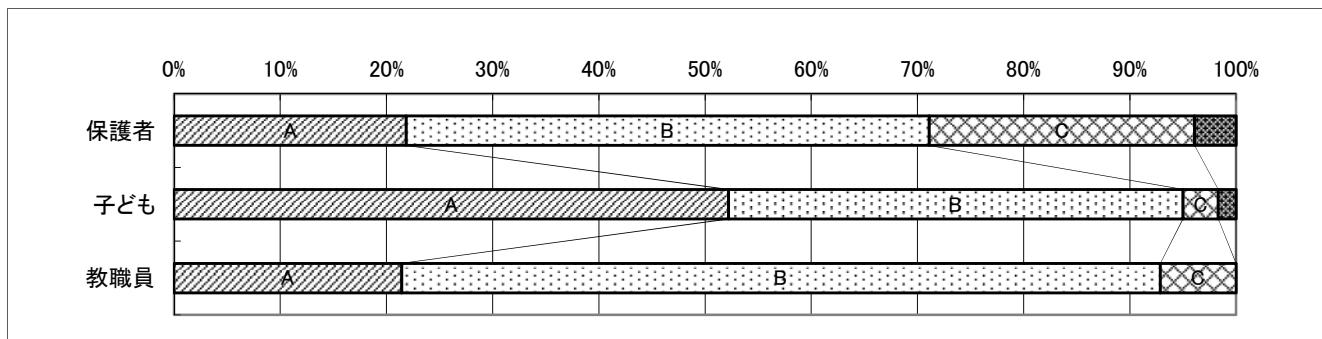
昨年度に引き続き、C・D評価の多い項目です。子どもは挨拶しているつもりでも、「自分から」「相手に伝わるように」の視点が欠けているのだと思います。引き続き、学校でも指導していきます。大人がお手本を示せるようご協力を願います。

- ⑪ 子どもはお手伝いや自分の仕事をきちんとできている。(保護者)

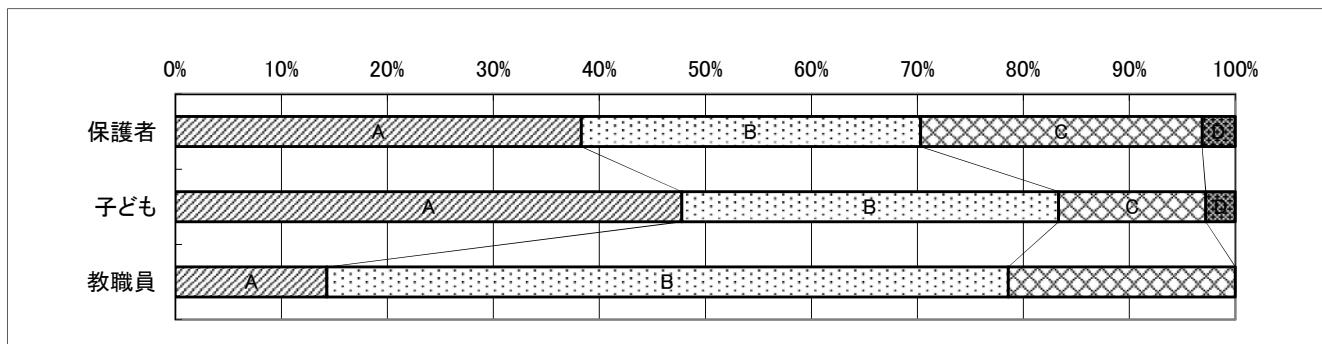
掃除、日直などの当番活動や係活動がきちんとできている。(児童)

子どもたちは当番活動や係り活動をきちんとしている。(教職員)

子どもはできていると思っているようですが、大人から見るとまだ十分でないと考えられます。子どもの頑張りを、大人が具体的な言葉や態度で評価していくことも大切だと思います。人のために動けること、段取り良く仕事をすることは子どもが大きくなっていく上で重要な力だと思います。子どもの課題を共有して同じ目線で指導できるようにお願いします。

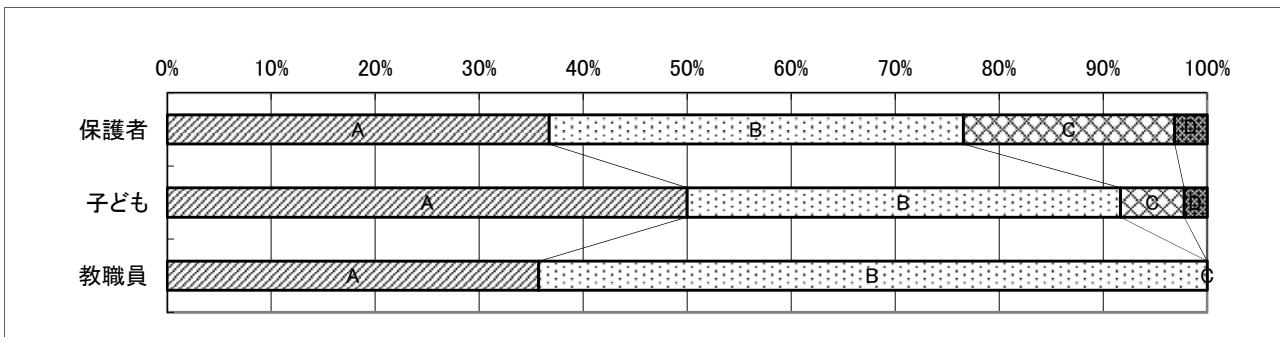


- ⑫ 子どもは、放課後や休みの日に外で進んで体を動かしている。(保護者)
進んで外で体を動かしている。(児童)
体力向上の取組を進めている。(教職員)



30年度前期と比較すると、保護者の評価は上がり、子どもの評価は下がっています。3者とも、依然「A」が50%ない項目です。学校の体育の授業はもちろん、遊びの中で運動能力が発達し、脳の成長にも良い影響があると言われています。今年度も、水曜日にはジャンボ遊びといって、みんなで30分間遊べる時間をとっています。楽しそうに運動場で体を動かす遊びを学級全体や縦割りグループでしています。ジャンボ遊びの取組が、他の時間にもつながっていくよう取り組んでいきたいと思います。

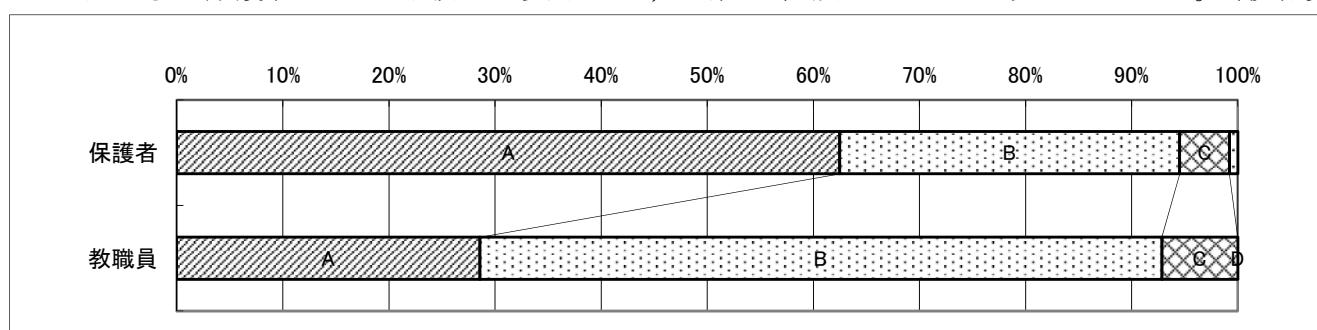
- ⑬ 子どもは好き嫌いなく食事を楽しんでいる。(保護者)
好き嫌いなく楽しく食事をしている。(児童)
給食についての指導が計画的にできている。(教職員)



3者とも昨年度と大きく変化はありませんでした。1年生は入学当初から、しっかり食べる子どもが多いです。好き嫌いなく食べている子が多いので、その雰囲気が他の子にも良い影響を与えているようです。給食時間は、時間が限られているので、食事に時間をかける子どもにはしんどいかもしれません。給食の時間が楽しくなるような取組を、引き続き考えていきます。

- ⑭ 教職員は保護者の話によく耳を傾けてくれる。(保護者)

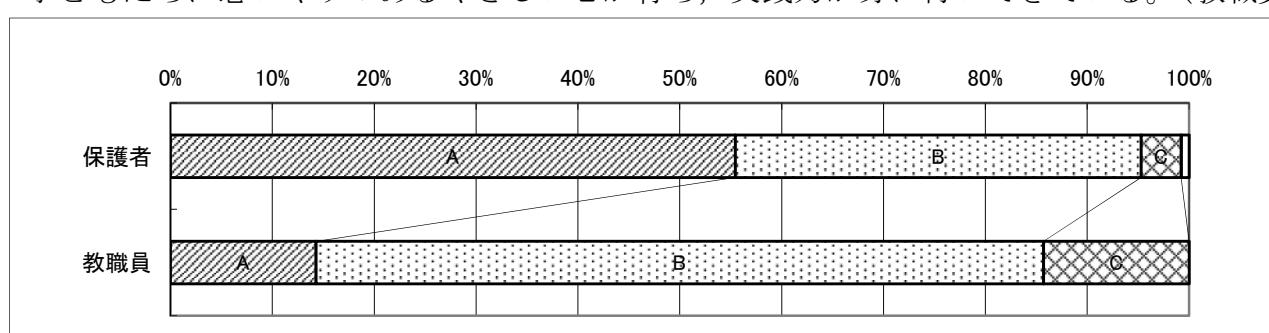
子ども・保護者の思いや願いを受けとめ、気軽に相談ができるようにしている。(教職員)



保護者のA評価が教職員のA評価を上回っており、嬉しく思います。子どもの様子は学校と家庭で違うことが多いと思いますので、子どもの良いところを伸ばし、気になるところを共有して、どのように指導していくのかと一緒に考えていきたいと思います。気にかかることがございましたら、ぜひご相談くださいるようお願ひいたします。

- ⑮ 学校はあたたかい思いやりのある心を育てる活動に取り組んでいる。(保護者)

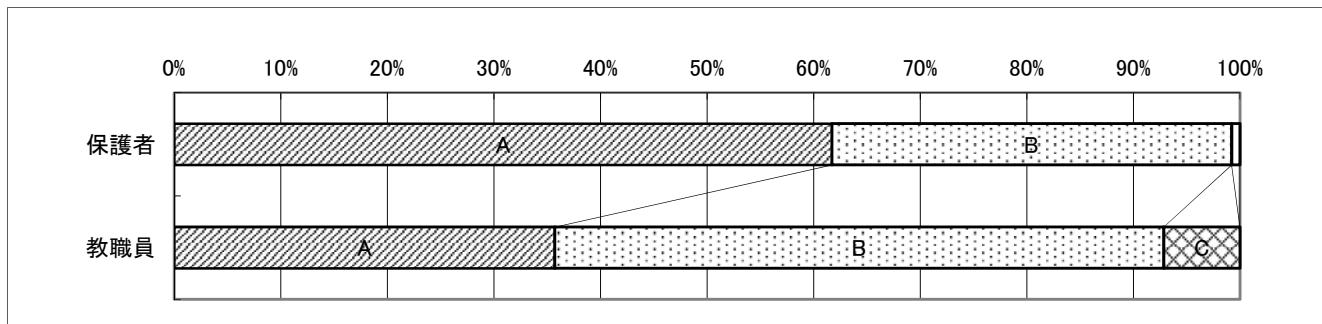
子どもたちに思いやりのあるやさしい心が育ち、実践力が身に付いてきている。(教職員)



教職員の「A」評価がありませんでした。教職員は、「実践力」という所に、課題を感じていると思われます。優しい気持ちをいっぱいもっている子どもたちがそれを行動に移すためには、少しハードルがあるようです。子どもの様子をより一層よく観察し、好ましい態度や素敵な行いをほめていけるよう取り組んでいきたいと思います。

- ⑯ 学校の取組が学校だより、学級だより、ホームページなどでよくわかる。(保護者)

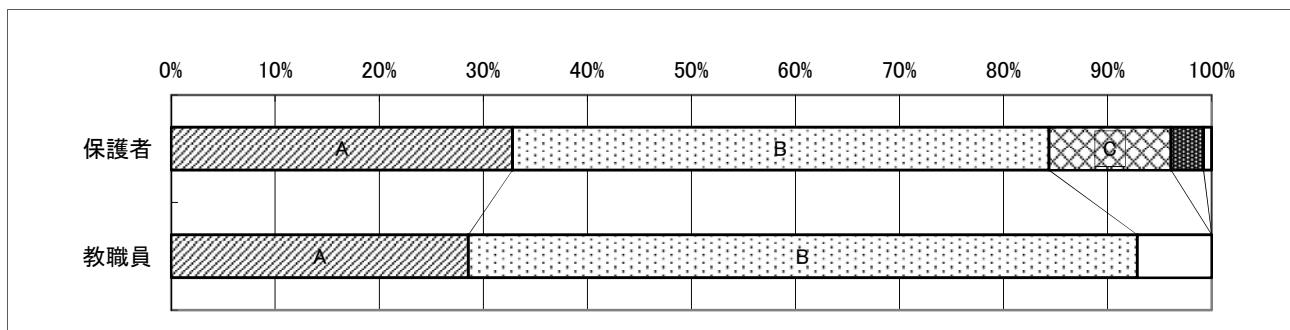
学校情報の発信ができている。(教職員)



昨年度同様、保護者の評価に比べて、教職員は十分伝えて切れていないと思っています。ホームページでは行事をはじめ、日常の授業の様子などを、今後もより一層伝えていきたいと考えています。お気づきの点はぜひお知らせください。

⑯ 学校行事やP T A行事等に参加するようにしている。(保護者)

様々な取組や行事を通して、学校・家庭・地域が連携し、子どもの教育にあたっている。(教職員)



たくさんの保護者の方がP T A行事や地域行事に参加していただいており嬉しく思います。なかなか忙しくて、参加したくてもできていないと思ってくださっている方も多いようです。教職員は、「A」評価が増えました。日々「連携」の大切さを感じながら、子どもの指導・支援をしております。子どもは一人で成長していくのではなく、友達、異学年の子どもとともに失敗しながら成長していきます。大人が温かく厳しい目で見て導いていきたいと思いますので、どうぞよろしくお願ひいたします。

アンケートには、保護者の方々からコメントをいただきしております。ありがとうございました。学校での子どもの成長を感じられていることや子どもへの指導についてのお褒めの言葉などがありました。一方、教員の言葉使いや学校の各取組への改善点もご指摘いただきました。

コメント頂いた内容については、学校の教職員全体で周知して、今後の学校・学級活動の改善に生かしていきたいと思います。一つ一つの内容については、学校での方針が決まりましたら、学校だより等でご報告していく予定です。個別にお応えできる内容については、個別にご連絡いたします。そのためにも、記名でのアンケートに今後もご協力下さい。

ご意見をお聞かせいただけすると、学校の教職員も日常の指導・支援・取組について反省・改善していく契機となります。今後とも、忌憚のないご意見をお聞かせいただけたらと思います。よろしくお願ひいたします。